



ROHM Group Corporate Profile

2021 / 2022

企業目的

われわれは、つねに品質を第一とする。
いかなる困難があろうとも、
良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、
文化の進歩向上に貢献することを目的とする。

経営ビジョン

パワーとアナログにフォーカスし、
お客様の“省エネ”・“小型化”に寄与することで、
社会課題を解決する。

ブランドスローガン

Electronics for the Future



ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

松本 功

“Electronics for the Future” エレクトロニクスで社会課題を解決する会社へ

ロームは、創業当時より「企業目的」に基づき、商品を通じて文化の進歩向上に貢献してきました。この不変の「企業目的」を再認識するとともに、新たな社会基盤における当社の使命を明確にするために、2020年に「経営ビジョン」を策定しました。企業にとって、売上は社会への貢献総量であり、大きな売上成長を通じて、より多くの社会貢献につなげていくという決意を込めています。

今回発表した中期経営計画「MOVING FORWARD to 2025」は、10年後のロームが目指す姿である経営ビジョンを実現するために、直近5年間の計画を明確にしたものです。10年後の飛躍的な成長を見据え、財務・非財務の両面で、より強固な経営基盤を構築してまいります。

事業における具体的な成長戦略としては、パワーデバイス、車載LSIを中心とした注力製品群で売上を大きく伸ばすと

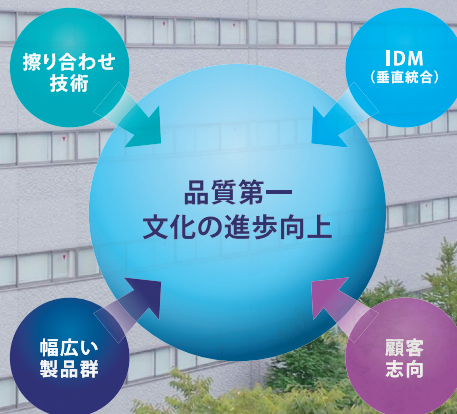
ともに、汎用デバイスや民生機器向けLSIなどの収益力を更に強化するため、商品の高付加価値化と海外シフトで、事業の質的変換を図ります。さらに、将来に向けた新たな成長事業の構築を目指してまいります。

非財務においては、ESG重点課題を特定し、まず「環境ビジョン2050」を制定しました。「気候変動」「資源循環」「自然共生」の3つの柱で、CO₂排出量実質ゼロ及びゼロエミッションを目指します。また、企業成長の原動力となる人財育成に加えて、ダイバーシティの推進や、実効性のあるガバナンス改革を着実に実行してまいります。

“Electronics for the Future” これまでも、そしてこれからも、わたしたちロームは、エレクトロニクスで社会課題を解決し、人々の豊かな暮らしと、文化の進歩向上に貢献してまいります。

Strengths

これまでに培った要素技術を結集させ価値を最大化できる「擦り合わせ技術」や、受動部品からパワーデバイス・LSIに至る「幅広い製品群」、有事の対応力・安定供給・徹底した品質管理の「IDM（垂直統合）」、そして顧客観点でのソリューション提案「顧客志向」、これらの強みを活かし、これからも成長します。



垂直統合型生産体制

IDM (Integrated Device Manufacturer)

市場の変化やお客様の様々なニーズに対応するために、自社開発を中心にした一貫生産システムを活かし、安定供給を実現しています。

内製金型・リードフレーム

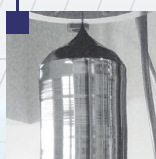
品質つくりこみのため、リードフレームや金型の一部を内製化することで社外委託品の品質管理に役立てると同時に、供給面での安全性を担保

原材料からのこだわり

シリコンのインゴット引き上げからウエハを製造



シリコン原石



Silicon Ingot

内製フォトマスク

ICチップデザインのレイアウトからフォトマスク製造まで一貫した品質管理で高品質を追求

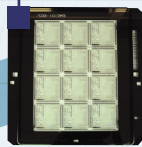
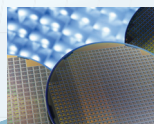


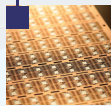
Photo Mask



Wafer Process

ウエハプロセス

日本の生産拠点を中心に、ウエハプロセスから革新的なデバイス作りを展開



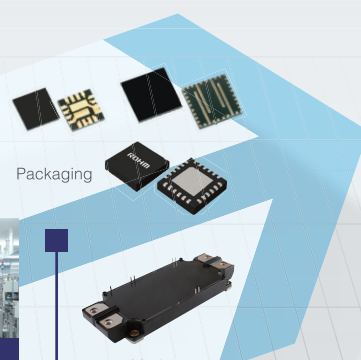
Frame



Die / Mold



Assembly Line



Packaging

Module

最先端パッケージ

RISPAC、QFNなど、最先端のアッセンブリ技術と高品質を誇る海外生産拠点

Si
シリコン



CAD

Wafer

SiC
シリコン
カーバイド



SiCrystal

SiCrystal

A ROHM Group Company

SiC単結晶ウエハメーカー

SiCrystal社は2009年にロームグループの一員となったドイツのSiC単結晶ウエハメーカー

フレキシブルライン

自社で培ってきた生産システムの要素技術を結集し、「品質第一」、「省人化」、「多品種少量生産」というコンセプトの、「良品しか作れない」フレキシブルラインを完成しました。



Technology

ロームグループは、LSI、ディスクリートデバイスからモジュール、パッシブデバイスまで、省エネや安心、安全といった社会課題の解決に貢献する多くの製品を提供しています。



パワーマネジメント / 電源LSI



PMIC
(システム電源)



高耐圧
DC/DCコンバータ

モータ/アクチュエータ ドライバLSI



高耐圧ファン
モータドライバ



絶縁素子内蔵
ゲートドライバ

スタンダードLSI



メモリ、オペアンプ、コンパレータ、
リセットICなど

センサLSI



加速度センサ、ホールセンサ、光学センサ、
超音波センサ、気圧センサ など

マイクロコントローラ



汎用マイコン



音声再生マイコン

画像LSI



ビデオ
インタフェース



ディスプレイ
コントローラ

SiC (シリコンカーバイド) パワーデバイス



SiCショットキー
バリアダイオード



SiC-MOSFET



フルSiC
パワーモジュール

トランジスタ



バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBTなど

ダイオード



TVSダイオード、ショットキーバリアダイオード、
ファストリカバリダイオードなど

LED / 半導体レーザ



小型チップLED

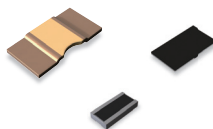


高出力LED



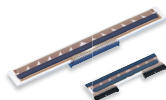
高出力レーザ

抵抗器



ハイパワーシャント抵抗器、
高信頼性抵抗器など

サーマルプリントヘッド



リセット・ラベル用
高耐久サーマル
プリントヘッド



産業機器向け
超高速サーマル
プリントヘッド

無線通信デバイス



Sub-GHz対応
無線通信IC



Wi-SUN
モジュール

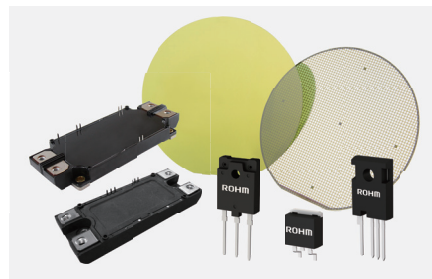
Focus Areas

パワー、アナログ、スタンダードプロダクト、
3つの製品群を中心に技術開発を
加速していきます。

Power

世界をリードするSiCを中心とした特長あるパワーデバイスに加え、デバイス性能を最大限に活かす制御ICやパワーダイオード、シャント抵抗器などの周辺デバイスもラインアップしています。

SiCパワーデバイス採用例



ロームが世界をリードするSiCパワーデバイス。
様々なアプリケーションで採用が広がっています。

Analog

回路設計、レイアウト、プロセスという3つのコア技術を融合した世界最高のアナログICが続々と誕生。自動車や産業機器の劇的な省エネ化、小型化、耐ノイズ性改善に貢献します。

アナログ技術の粋を集めた革新的電源 Nanoシリーズ

•超高速制御テクノロジー「Nano Pulse Control®」搭載IC

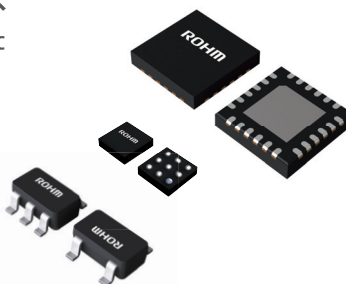
極めて細いパルス幅で安定制御を可能にし、
自動車や産業機器の小型化、システムの簡略化を実現

•超低消費電流テクノロジー「Nano Energy®」搭載IC

IC自体の消費電力を低減することで、
小型電池を搭載する機器の長時間駆動に貢献

•超安定制御テクノロジー「Nano Cap®」搭載IC

不要な寄生要因を極小化することで、
各種電源回路のコンデンサの削減や容量低減を実現



圧倒的なノイズ耐量 EMARMOUR™オペアンプシリーズ

EMARMOUR™はロームの回路技術、レイアウト技術、プロセス技術を融合する事で開発された圧倒的なノイズ耐量を実現。システム開発におけるノイズ課題を解決することで、設計工数削減や高信頼性に貢献します。

※「EMARMOUR™」は、ローム株式会社の商標または登録商標です。

Standard Products

世界トップシェアを誇る小信号トランジスタ・ダイオードを中心に技術と経験に裏打ちされた高品質な商品を提供。継続的な設備投資により生産能力を向上し、高信頼性が求められる自動車・産機市場で長期安定供給を実現していきます。





Sustainability

ロームグループは、「企業目的」「経営基本方針」に則って事業活動を行い、社会の健全な発展とグループの持続的な成長を目指します。

事業活動の軸であるCSR/CSV

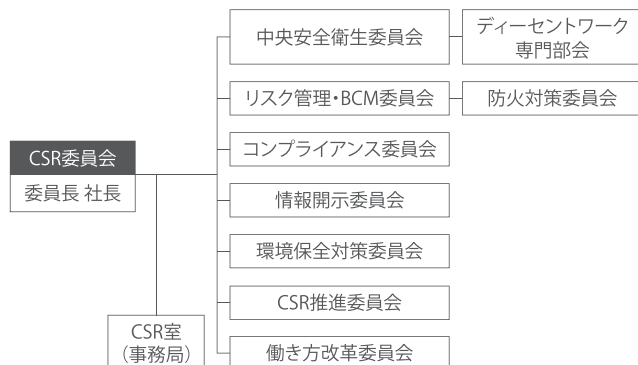
ロームグループが掲げる「企業目的」「経営基本方針」は、事業を通じて社会をより豊かにしていきたいという強い思いが込められています。これらを根幹として、社会的要請や国際規範に沿ったCSRを果たすと共に、SDGsをCSVの源泉として社会課題の解決につながる革新的な商品開発や高品質なものづくりを推進することで、ステークホルダーの皆様の期待にこたえられる企業を目指しています。



サステナビリティ推進体制

ロームグループでは、全取締役とそれに準ずる権限をもつ部門長から構成されるCSR委員会が、環境・社会・ガバナンスなどの事業の根幹にかかわる責任を担っています。また、下部組織である7つの委員会では、各分野における重要課題を特定し、PDCAを回すことで掲げた課題に取り組んでいます。その適切性をマネジメントシステム認証により確認すると同時に、取り組みの精度向上に努めています。

〔ローム本社の推進体制〕



社会とロームの持続成長に向けて

ロームグループは社会の持続的な成長とともに歩むことを目指しています。そしてこの度、さまざまなステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを行い、経営ビジョンを達成するために必要となる、中期経営計画に連動したCSR重点課題と非財務目標のKPIを新たに定めました。ロームグループでは、この重点課題を軸としてCSR/CSVに取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



<https://csr.rohm.com/jp/>

※ロームグループのCSR情報は、Webサイトからアクセスできます。本冊子より幅広く、タイムリーな情報を掲載しています。



〔ロームグループのCSR重点課題〕



CSR重点課題	関連するSDGsの目標
革新的な製品・技術による社会課題の解決	3 持続可能な開発のための健康、8 持続可能な産業・イノベーション、12 持続可能な消費と生産、17 パートナーシップのための開発
高品質な製品の安定供給	9 持続可能な産業・イノベーション、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応
国際社会に貢献できるグローバルな人材の育成	5 ジェンダー平等、8 持続可能な産業・イノベーション、10 人や国の不平等の解消
バリューチェーンにおける人権尊重の徹底と労働慣行などへの配慮	6 安全な水とトイレの健全な確保、10 人や国の不平等の解消、16 平和と公正な社会
地球環境に配慮した事業活動の推進	6 安全な水とトイレの健全な確保、7 持続可能なエネルギー、13 気候変動への対応
事業を通じたコミュニティへの貢献	4 質の高い教育をみんなに、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップのための開発



www.rohm.co.jp

会社概要

商 号	ローム株式会社 / ROHM Co., Ltd.
本社所在地	〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21 TEL (075) 311-2121 FAX (075) 315-0172
設立年月日	1958 (昭和33) 年9月17日
資 本 金	86,969百万円(2021年3月31日現在)
代 表 者	代表取締役社長 松本 功
売 上 高	連結 359,888百万円(2021年3月期)
従 業 員 数	連結 22,370人(2021年3月31日現在)

